

ピルズベリー、日本における M&A 案件実績で 引き続きグローバル・リーダーとして高評価を獲得

ピルズベリーの日本におけるコーポレート・プラクティスは、リフィニティヴ、ブルームバーグ、ファクトセットなどの著名な格付け機関から、トップ 10 ないしトップ 20 に入る数々のランキングを獲得しています。中でも、M&A 分野において、2022 年までの取り扱い件数で、ファクトセットでは 7 位、同じくリフィニティヴでは 9 位と、上位にランクインしました。また、2021 年にクロージングが完了した M&A の総件数ランキングで、ファクトセットでは 11 位にランクインしました。

法律に関する調査・分析の権威ある格付け機関であるチェンバーズ & パートナーズも、長年にわたり一貫してピルズベリーの日本での業務を評価しています。例えば、2021 年および 2022 年のチェンバーズのグローバル部門では、日本における当事務所のプロジェクト・エネルギー業務がトップランクに選ばれています。また、チェンバーズのアジア太平洋部門でも、プロジェクト・エネルギー、金融・ファイナンス、コーポレート/M&A などの分野で、ピルズベリーの弁護士を高く評価しています。

ピルズベリーの日本での活動は 1930 年代に始まり、最も早くから日本企業を代理している米国の法律事務所の一つです。日本、英国、米国など世界各地に配置された弁護士とスタッフは、言語と文化の両面において英語と日本語に堪能です。

ピルズベリーの [ジャパン・プラクティス](#) の共同リーダーである奈良房永弁護士は、「日本から海外に進出する日本企業に対する我々の長年のサポートが評価されたことは、本当に喜ばしいことです。長年にわたり日本にフォーカスしてきた我々のグローバルな弁護士チームをこの上なく誇りに思います。」と述べています。

2021 年には、エネルギー分野で日本企業代理の豊富な経験を持つ M&A 弁護士であるコーポレート・パートナーの [ジェフ・シュレップファー](#) が東京オフィスに着任したことで、更にその勢いを付けました。20 年以上の実務経験を経てモリソン・フォースター法律事務所から当事務所に移籍したシュレップファー弁護士は、日本の上場・非上場企業のクロスボーダーの合併・買収に関する代理を初め、一般的な企業法務に関するアドバイスも提供しています。

シュレップファー弁護士は、「当事務所は、高い基準を設定し、大きな目標を達成します。このようにして、私たちのグループは近年、あらゆる面で評価を受けるに値します。世界各国から集まった素晴らしい弁護士チームの一員であることを誇りに思います。」と語っています。

Press Release に関するお問い合わせ

田中里美

satomi.tanaka@pillsburylaw.com